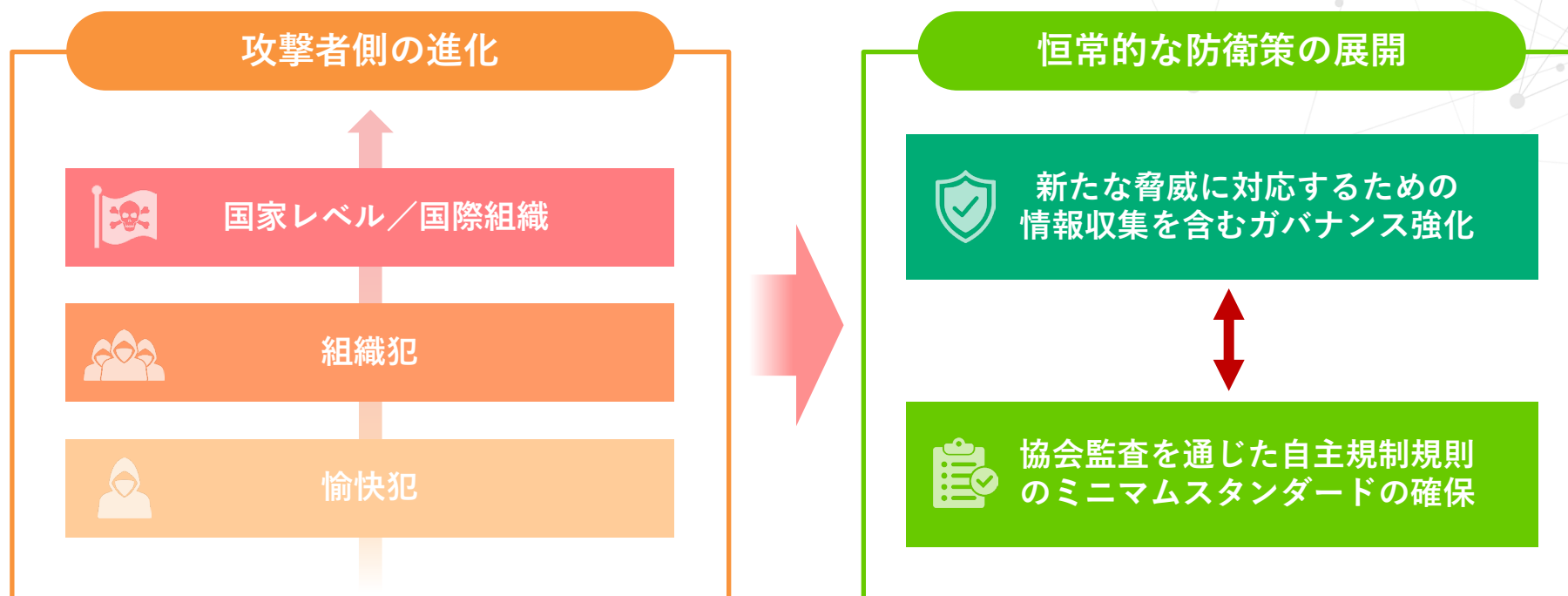


第6回暗号資産制度に関するWG説明資料 (セキュリティ強化に向けた取組みについて)

2025年11月26日

一般社団法人日本暗号資産等取引業協会

攻撃者側が進化をしているため、恒常的にセキュリティ対策が求められる



- 常に進化し続ける国家レベルの攻撃者を前に、チェックリストを満たすだけでは、セキュリティ水準は不足
- 協会内に業界内外のセキュリティ専門家からなる組織を設け、専門家の知見と最新の動向を踏まえてJVCEA自主規制規則等を常にアップデートし、会員企業の適応を促す体制を構築するとともに、ブロックチェーン等の技術革新や国内外の最新の攻撃の手口、脆弱性等についての情報収集・分析については、事業者・認定自主規制団体・各種情報共有機関・当局と連携していく

業界を挙げてのセキュリティ強化の推進体制

自助・共助・公助の精神で関係者と連携し、 業界を挙げてセキュリティ水準を向上させていく



自助 (交換業者)

- 暗号資産交換業者自身によるセキュリティ水準の高度化
- 外部委託先管理の強化（含む事前届け出対応）による運用水準の高度化



共助 【当協会と関係 団体の連携】

- 認定自主規制団体による継続的な自主規制規則・ガイドラインおよび各種指針等の見直し
- セキュリティ委員会による自主規制の策定等の運営の位置づけをより重要なものと位置づけ、外部有識者の知見に基づく運営を中心にするなど体制、運営を強化していくとともに、当局とも連携
- 認定自主規制団体による監査/モニタリングの質および量の向上
- セキュリティ関連団体との連携による最新のセキュリティ動向の共有
- 暗号資産交換業者だけでなく、セキュリティ事業者や外部委託先を含めたセキュリティ勉強会の実施



公助 (政府等)

- 政府レベルでのサイバー犯罪事例および対策案の共有
- 国際機関との連携支援
- 捜査機関との連携強化
- 各種ガイドラインの改訂やDelta Wallへの参加

将来的には国際的なセキュリティ・コミュニティに参加できるような人材を作り出し、
グローバルなブロックチェーンに係るセキュリティの議論に、
日本の暗号資産業界も貢献できることを目指していく

暗号資産業界の情報共有機関として2025年にJP Crypto ISACが発足
JVCEAと同組織が車の両輪となるよう、JVCEAとしても後押しをしていく

JP Crypto-ISAC が目指すこと

- 海外の最新のセキュリティ対策情報の共有
- サイバー犯罪/ハッカーの情報の共有
- セキュリティに関する勉強会の定期開催
- 暗号資産交換業者に加えて、ウォレット事業者/チェーン解析事業者/セキュリティ事業者/国内外捜査関係者による意見交換会
- 動的なサイバーディフェンスに関する枠組みの構築



一般社団法人 日本暗号資産等取引業協会 JVCEA - Japan Virtual and Crypto assets Exchange Association として取り組むべきこと

- 暗号資産交換業者に対するセキュリティの自主規制規則の作成およびモニタリング
- セキュリティに関するチェックリストの作成および安全管理標準の作成
- 会員企業に対するオンサイト/オフサイトモニタリングの定期的実施
- 当局および捜査機関と連携した金融犯罪に対する対策強化
- 静的なサイバーディフェンスに関する枠組みの構築

- 共助の精神から暗号資産交換業者に対して、各種情報共有機関への参画を積極的に推進してまいります
- 特に、JP Crypto ISACについては、幅広い参加を得、暗号資産交換業界横断的に運営されるよう後押ししていきます
- なお、個社のセキュリティ情報がJP Crypto ISAC事務局および他会員へ開示が強制されることはありません